

プログラミング支援ツール NP4H-SEDBV3 バージョンアップについて

1. 対象機種

IEC61131-3 準拠プログラミング支援ツール SX-Programmer

形式	品名	最新バージョン	バージョンアップ時期
NP4H-SEDBV3	Expert (D300win)	V3.4.0.0	2007年2月

2. バージョンアップサービスの概要

ホームページからのバージョンアップサービスは、旧版の Expert (D300win) をお持ちの方を対象として、アップグレード機能を用いて最新の Expert (D300win) 使用環境を提供します。

ホームページからのダウンロードにより、最新の Expert (D300win) を容易に取得できます。

SX-Programmer Expert (D300win) V3.4.0.0 用アップデートファイル : ExpertUpdateV3400.exe

3. 最新バージョン V3.4.0.0 の主な変更内容 (2007年2月)

(1) 基本機能改良

変数エディタの EXCEL 連携、変数プロパティダイアログ、クロスリファレンス自動更新、プロジェクト比較、ウォッチウィンドウの要素登録の、各機能を改良しました。

(2) ラダーエディタの機能改良

左母線の整列、ワークシート分割、回路コメントジャンプの、各機能を改良しました。

(3) SPH300 ユーザー ROM 運転なしモードへの対応

(4) SPH2000 冗長化 CPU モジュール (NP1PM-256H) 対応

(5) V3.3.7.1 の不具合修正

グローバル変数シートの容量が大きい場合、クロスリファレンスの作成を実行すると Expert が強制終了することがある不具合を修正しました。

4. 主なバージョンアップ履歴

(1) V3.3.7.1 (2006年12月)

① V3.3.7.0 の不具合修正

SPH200 または SPB に対してプロジェクトをダウンロードすると、アプリケーションエラーになる不具合を修正しました。

(2) V3.3.7.0 (2006年11月)

① ボードコントローラ オプションカード対応

(3) V3.3.6.0 (2006年10月)

① IP アドレスリスト ネットワーク機器検索機能

IP アドレスリスト機能にネットワーク機器検索を追加しました。

② ZIP ファイルのオフライン保存機能

ZIP ファイルをパソコンのディスクに保存する機能を追加しました。

(4) V3.3.5.0 (2006年8月)

① サーボシステム FALDICA ALPHA5 対応

② V3.3.4.1 の不具合修正

SPH300EX 以外の機種にて、変数名の最後が ' _E' のグローバル変数を AT 指定するとコンパイルエラーになる不具合を修正しました。

(5) V3.3.4.1 (2006年7月)

① 高性能 CPU モジュール SPH300EX 対応

②V3.3.3.0の不具合修正

SPH2000 (NP1PM-48E/256E)にて、FTP アクセス機能が使用できない不具合を修正しました。

(6)V3.3.3.0 (2006年5月)

①パスワード機能の拡充

前バージョンで追加した、PLCオンライン操作の制限設定機能に対し、ユーザにてアクセス制限範囲を設定する機能を追加しました。パスワードによって制限される機能はアクセスレベルごとに設定できます。

②クロスリファレンス付きラダープログラム印刷機能追加

プロジェクト印刷機能にて、クロスリファレンス情報をプログラム印刷ページと同一ページに印刷する機能を追加しました。

③変数定義ダイアログの設定改善

変数定義ダイアログにて、グローバル変数グループの指定方法の「ワークシートの全変数を表示」機能のデフォルト状態を「設定有り」に変更しました。

④変数情報のツールチップ表示

ワークシート上に各変数のデータ形、初期値、コメントなどをツールチップ形式で表示します。

(7)V3.3.2.0 (2006年1月)

①パスワード機能の拡張

PLCオンライン操作の制限を設定する機能を追加しました。

本機能を使用してアクセス認証用パスワードを設定することにより、PLCへの操作をレベル1、レベル2、レベル3、の3段階で制限することが可能となります。

②変数表示モードの一括リセット 設定

LD/FBDワークシートにおける変数表示モードを一挙動でデフォルト設定に戻す機能を追加しました。

③SPH300 ファームウェア対応 (V**65)

- ・縮退立上げ時間短縮機能
- ・強制設定状態継続運転

(8)V3.3.1.0 (2005年11月)

①ボードコントローラ対応

- ・システム支援機能の追加
- ・オンライン機能の追加

(9)V3.3.0.0 (2005年8月)

①システム定義 未実装操作の改良

1クリックでモジュールの実装/未実装を切り替えることが可能としました。また、未実装一括設定機能の1クリック操作により、構成ツリー上で選択されているモジュールとその階層下のモジュールを一括で未実装に設定または設定解除することができます。

②SPH2000対応

新系列CPUモジュールSPH2000に対応しました。

(10)V3.2.1.0 (2005年6月)

①製品名称の変更

従来の名称「D300win」より、「SX-Programmer Expert (D300win)」に名称を変更しました。

②変数エディタの変更

Microsoft Excelとの連携、編集操作の改良、変数の一括挿入等の改良をしました。

③プロジェクト編集の改良

圧縮プロジェクト(ZWTファイル)の解凍、プロジェクトツリーエディタの機能改良をしました。

④印刷機能の改良

プロジェクト印刷のページ指定印刷、変数ワークシートの折り返し印刷を追加しました。

⑤SPH300 I/O領域拡張への対応

SPH300 (V**64以降)のI/O領域拡張機能に対応しました。

(11)V3.2.0.0 (2005年4月)

①カーネル機能のバージョンアップ

- ・変数定義ダイアログの改善

- ・ファンクション／FB定義ダイアログの改善
- ・変数ワークシートの操作改善
- ・POUグループ機能の追加
- ・POUインポート／エクスポート機能の拡張
- ・マルチユーザ支援機能の強化
- ・サンプリングトレース機能の拡張
- ・メッセージウィンドウの改善

②プロジェクト履歴機能

ダウンロード成功後（POU変更含む）プロジェクトの履歴を保存する機能を追加しました。

③故障診断機能の改良

詳細RASに表示されるメモリダンプ表示の一部を文書表示します。

(12)V3.1.4.0（2004年10月）

①プロセッサリンクモジュール最大構成数拡張対応

プロセッサリンクモジュール（リンク、FL-netなど）の最大構成数を8台へ拡張しました。

②システム定義の設定追加

システム定義のシステム動作定義設定に「CPU”0”なしシステム立上げ」設定を追加しました。

システムプロパティのシステム縮退立上げ動作定義に「拡張設定」を追加しました。

(13)V3.1.3.0（2004年8月）

①SPH CPUボード サンプリングトレース機能対応

サンプリングトレース機能を実装したCPUボード（NP3PS-SX1PCS74 V**63）へ接続時、高精度サンプリングトレースが起動するよう対応しました。

(14)V3.1.2.0（2004年5月）

①8kステップPOU対応

SPH300（V**62以降）のPOU 8kステップに対応しました。

②SX制御ユーティリティの改良

メッセージマネージャによるオンライン接続に対応しました。

これにより、Expert(D300win)と制御ユーティリティが、同一ポートでの同時通信が可能になります。

(15)V3.1.1.0（2003年12月）

①サンプリングトレース対応

SPH300（V**61以降）のサンプリングトレース機能に対応しました。

②オンライン機能の改善

故障診断機能において、システム重故障集約情報に表示されるPOU番号に対応したPOU名を表示するように改良しました。

(16)V3.1.0.0（2003年6月）

①小形PLC SPB対応

SPBのIEC61131-3準拠プログラミングを可能としました。

②SPBシステムソフトユーティリティ

SPBの基本ユニットのシステムソフトウェア（ファームウェア）をSXモード（IEC61131-3準拠言語）に更新できます。

③SX制御ユーティリティの機能追加

データ編集機能を拡張し、時間形、文字列形を追加しました。

バックアップファイルの読み込み、編集機能を拡張し、タブ区切りテキスト形式を追加しました。

(17)V3.0.0.0（2002年12月）

①新ラダーエディタ

ラダーワークシートの表示／編集を行うラダーエディタを、従来のフリーレイアウト形式から、グリッド枠固定形式に改良しました。これによりキー操作でのプログラミングが容易に行えます。

②変数ワークシートのテーブル化

変数ワークシート（ローカル／グローバル）が表形式となり、変数の整理がし易くなります。

③プロジェクトのプロテクト機能の追加

プロジェクトに対するパスワードによる木目細かいプロテクトが可能となり、セキュリティ性が向上します。

④故障診断機能の改良

構成情報を確認しながら故障情報を解析できるため、故障診断が容易となります。

5. 従来品との互換性

今回のバージョンアップによるプログラムの互換性は下表の通りです。

	旧バージョンで作成のプログラム	V3.4.0.0で作成のプログラム
NP4H-SEDBV3 旧バージョン	○	△
NP4H-SEDBV3 V3.4.0.0	○	○

新バージョンの機能を使用したプログラムは、旧バージョンの Expert (D300win) では非互換が発生します。

6. バージョンアップ方法

- (1) パソコンのハードディスクに任意のフォルダを作成します。
- (2) 作成したフォルダに V3.4.0.0 用アップデートファイル「ExpertUpdateV3400.exe」をダウンロードし保存します。
- (3) ファイルをダブルクリックします。（アップデートファイルは自己解凍型圧縮ファイルです）
- (4) 作成したフォルダ内にファイルが解凍されます。
- (5) 解凍したファイルの「Setup.exe」をダブルクリックします。
- (6) インストーラの指示に従い、インストールを行います。
- (7) インストールが終わったら Expert (D300win) を立上げ、「ヘルプ」メニューの「情報」にて、バージョンが V3.4.0.0 になっていることを確認します。

7. バージョンアップする際の注意事項

- (1) 本アップデートファイルは Expert (D300win) : NP4H-SEDBV3 がインストールされているパソコンにインストールしてください。
- (2) 本アップデートファイルは既にインストールされている Expert (D300win) のバージョンが V3.0.0.0 以降でないとは利用できません。
- (3) 本アップデートファイルのサイズと実際にダウンロードしたファイルサイズが異なる場合は、インストールしないで破棄し、再度ダウンロードしてください。
- (4) 実行中のプログラム（Expert (D300win)、SX 制御ユーティリティ、メッセージマネージャ等）を終了してからインストールしてください。
- (5) インストール途中で何らかのエラーで処理が中断されてしまった場合、再度インストールしてください。
再インストール時にエラーで中断される場合は、お手持ちの Expert (D300win) のセットアップ CD で旧版をインストール後、再度アップデートファイルをインストールしてください。

プログラミング支援ツールのバージョンアップは、『Fe library』のページからダウンロードできます。

Fe library ENTER